



大和小だより

令和6年度版

学校便り 第11号

令和6年12月3日

文責

校長

〇〇

〇〇

◇とっても楽しい「わくわくおもちゃ王国」

2年生が1年生を招待し、わくわくおもちゃ王国を開催しました。2年生が1年生に楽しんでもらうために、生活科の時間を使いおもちゃを作成しました。そして、1人ひとつのおもちゃ屋さんを担当して、1年生をもてなしました。1年生はとても楽しそうに各おもちゃ屋さんを回って遊ぶことができました。幼かった2年生が大きく成長し、頼もしいお兄さん、お姉さんに見えました。



◇色々な本に出会えた「どんぐり読書週間」

今年も11月6日から13日まで「どんぐり読書週間」として、朝活動の時間を使い児童に読み聞かせを行いました。6月に実施したあじさい読書同様、マジックポッケの皆様をはじめとして、保護者・地域の皆様のご協力のもと、様々なジャンルの本を読み聞かせていただきました。地域に伝わる話や外国の話、動物のことや世界の人たちを助けるために活動している団体のこと、楽しい話や悲しい話、初めて聞く不思議な話等々、子どもたちはお話に目を輝かせて聞き入っていました。学年の発達段階を考慮して本を選んで下さっていることも大変ありがとうございます。

最近の読書離れ、特に紙の本を読む人が年々減っていることが新聞でも取り上げられていました。本を読むことは知識量が増え学力の向上にも繋がると言われていますが、それだけではなく、ゆったりした時間を過ごす、心がワクワクして楽しい気持ちになる、感動で胸がいっぱいになる、落ち着いた豊かな時間を過ごせるなど様々な良さがあると思います。タイパとか時短とか言われながら、何となく慌ただしく過ぎていく毎日の中に違った豊かさをもたらしてくれるものだと思いますし、その時間が貴重なのだとも思います。私も学びのための読書以外に興味で本をよく読みますが、その時間は私の人生を充実させてくれる大切なひとときとなっています。子どもたちにもそのような時間を持ってもらえたらと思っています。

朝の読み書かせには、いつも多くの方にご協力いただき、感謝しています。今後とも子どもたちのためにご協力をよろしく願いいたします。

【読み聞かせにご協力いただいた皆様】

マジックポッケ	〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さん 〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さん 〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さん
地域ボランティア	〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さん
保護者・おうちの方	〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さん 〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さん



◇共生社会の実現に向けて

山梨県障害者福祉協会から〇〇〇〇さんを講師にお迎えし、福祉講話を行いました。〇〇さんは、現在パラスポーツの指導をしており、上級パラスポーツ指導員資格・日本障害者フライングディスク連盟2種審判員資格を持っている方です。右手に障害がありますが、小中高と普通に学校に通い生活したそうです。その時の経験も交えながら、障害を持った人たちと共に生きていく上で大切な事や子どもたちに伝えたいことなどを分かり易く話してくださいました。

更に、〇〇さんが専門としているフライングディスク競技を実際にやってみるという体験もさせてもらいました。パラスポーツにも触れながら、多様な人々が共生して生きていく社会の実現に向けて、楽しみながら学べた福祉講話となりました。



◇地域の行事で大活躍

〈5・6年生が「やまとウォーキング大会」で、名所スポットを紹介〉

11月23日（土）に、昨年度の6年生が地域学習で取り組み、学習成果発表会で発表した駒飼宿のチラシの内容をベースに、「やまとウォーキング大会」が開催されました。主催者であるスポーツ協会大和支部と大和公民館の方から、チラシで紹介された場所を巡りたいこと、できればその時に子どもたちにその場所の由来等の解説をして欲しいとの依頼がありました。学校からは、今年度行っている地域学習の内容で5・6年生が行うこと、休みの日なので児童の自由参加とすることの2点をお願いし、引き受けることとしました。

子どもたちは自分たちが学んだ大好きな大和のことを、実際に大人を相手に発表できるということで、意欲的に調べ学習や資料作成を行い、多くの児童が大会に参加しました。

当日、コース内の名所・旧跡において、大きな声で自信を持って発表している5・6年生の姿はとても立派でした。参加した子どもたちからは、「緊張したけど、しっかりと発表できて良かった」「自分たちが調べたことを聞いてもらえて嬉しかった」などの声が聞かれました。また、地域からも「子どもたちに参加してもらえて、大会が盛り上がり良かった」「名所の解説をしてもらって、今まで知らないことがあって驚いた」「今後もこのような活動を続けていきたい」などの声をいただきました。

子どもたちが地域から学んだ学習の成果が地域で生かされ、感謝される。共にWIN WINの関係が築けたことは、とても素晴らしい事だと思います。今後も地域とのつながりを大事に、地域と共にある学校でありたいと思っています。

